

初小だより

㊦㊦はつらつした子 ㊦やさしい子 ㊦まなぶ子

「機転の利く子供」の育成

平成30年5月29日 第4号

壱岐市立初山小学校 文責：校長 山川 祐司

粃蒔き

5・6年生の米作り学習が始まりました。それに伴って、5月15日(火)に一人1箱粃蒔きを、18日(金)にはその箱を並べて、簡易ハウスを作りました。例年の如く、福山武様やJA青年部(豊永哲司様、山口幸翼様)に御指導や御協力をいただきました。



1年親子給食・ブラッシング指導

5月18日(金)に1年生の親子給食・ブラッシング指導を行いました。当日の献立は、ハヤシライスとごぼうサラダでした。親子で楽しく会食ができました。その後、村瀬歯科の日高歯科衛生士さんに来ていただいて、親子ブラッシング指導を行いました。



PTA親子レクリエーション

5月18日(金)14:10から約1時間、親子レクリエーションを行いました。ポートボールやドッジボールやドッジビーなどで楽しいひとときを過ごしました。親子のふれあいは良いですね。その夜は、保護者と教職員、員懇親会を地区民センターで行いました。十分に学校との絆が深まりました。



スクールコンサート

5月22日(火)10:00~11:30、「村上三絃道津軽三味線スクールコンサート」を開催しました。園児、児童、家庭・地域の方、結の会の方々、総勢、約100名で鑑賞しました。演奏者は女性3名でした。さすがプロといった演奏で、三味線の調べが心に染み入りました。



第1回初山地区教育振興会議

今年度第1回目の「初山地区教育振興会議」を5月21日(月)19:00、本校図書室で開催しました。教育振興会議とは、学校支援会議のことであり、県内すべての小中学校にあります。学校支援会議とは、学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子供を育てるために、学校の求めに応じて、学校の教育活動等の支援を実施するための組織です。

今年度のテーマは、「地域の子を 地域で育てる 思いを胸に」サブテーマを「初山っ子を 笑顔でつなぐ 言葉かけ」です。会員は25名です。会長は、地区老人会長の川上兼雄様、副会長は地区公民館長の山川正毅様です。

会議の中では、今年度、学校教育重点事項に掲げている「機転の利く子供」の育成について有り難い御意見をいただきました。

また、保護司(南明寺住職)の坂口鉄生様からは次のような情報提供もいただきました。7/6(金)中学生の弁論大会、7/26(木)、27(金)天徳寺での禅の集い、5/26外国人による弁論大会、7/1のど自慢

最後に、閉会挨拶を山川正毅公民館長の代理で奥様の山川文枝様にさせていただきました。「学校・家庭・地域が一体となって頑張りましょう。」と有り難い言葉をいただきました。

6年校外学習

5月23日(水) 6年生が校外学習に出かけました。前半はあいにくの雨でしたが、充実した学習ができました。双六古墳→笹塚古墳→鬼の岩屋→国分寺跡→一支国博物館・長崎県埋蔵文化財センター→原ノ辻復元公園に行きました。現在、6年生の歴史学習では、聖武天皇の政治を学んでいます。その中で、仏の力を借りて、世の中を安定させるために、東大寺に大仏を建立し、全国には66か所に国分寺を建てたことを学習していますが、その1か所が吉岐にあったと知り、子供たちは感動していました。また、普段は入れない、長崎県埋蔵文化財センターのバックヤード見学もさせていただき、土器や木片、金属等の復元の様子も見学することができました。



5・6年宿泊体験活動

5月24日(木)と25日(金)に5・6年生が吉岐出会いの村で、「宿泊体験活動」を行いました。前日の校外学習は雨でしたが、この行事は2日間最高の天気にも恵まれ、充実した学習をすることができました。

1日目、24日(木)午前中は、主に、シーカヤック体験をしました。漕ぎ始めはおぼつかない様子でしたが、徐々にコツを掴み、2km沖の無人島まで、1時間の予定を40分でたどり着くことができました。無人島で昼食を取り、しばらく自然を満喫して、また本島に戻りました。

午後は、魚釣りをしました。大久保結貴さんのバリエーションに始まり、徐々にアジが釣れるようになり、全員で数十匹のアジを釣り上げることができました。すぐそばでスタッフの方が捌いてくださり、夕食時に大盛りの唐揚げとなりました。とても美味しくいただきました。

夕刻は、飯盒炊飯、サラダ・カレー作りをしました。手際が良く、調理も片付けもあっという間に、完璧にできました。各家庭でよく手伝いをしていることを垣間見ることができました。食欲も旺盛で、御飯が足りない程でした。

夜には、多くのお父さんやお母さん、おばあさん方の参観もあり、キャンドルの集いやレクリエーションをしました。

2日目は、吉岐のことを学習した後に、お昼まで猿岩周辺の歴史探索をしました。2日間で、子供たちは多くのことを学びました。学習態度も立派でした。本来、この宿泊体験活動は、他校では、6年生で行う修学旅行の予行練習として5年生で行っています。6年生にとってはその意味では逆転していますが、修学旅行での経験が今回生かされていたように感じました。「思いやりの気持ちをもって協力すること」は、人生において最も大切なことの一つであることを痛感させられた2日間でした。吉岐出会いの村の方々にも大変お世話になりました。有り難いことです。



お知らせ

①漏水で干からびており、今年度の水泳指導が危ぶまれていたプールの修理着工の目途が立ちました。なんとか6月からの水泳指導に間に合いそうです。